

## 赴任地巡り ～コンプリート癖



日本銀行 仙台支店長 岡山 和裕

私は子供の頃、父親が転勤族だったので、多く転校してきた。このため、新しい場所に行く  
と、それまでいた場所との違いに色々と気づくことが多かった。それは最初は違和感だったが、  
子供だったからだろうか、新しい場所の雰囲気慣れて、いつの間にか今の場所が好きになっ  
た。そして、また転校する時には、その地を離れるのがとても寂しくなったものだ。

こうした経験は、大人になってからは味わうことが少なくなった。というのも、社会人になっ  
てからは東京で勤務することが多かったからだ。

ところがである。5年前に久しぶりに東京以外で生活することになった。群馬県に赴任した  
からである。当然のことながら、東京で北関東のニュースは見ていたが、群馬県で生活しなが  
ら接する地元の情報は、全く新鮮さが違うのである。そうすると、新聞、テレビ、インターネッ  
ト、地元の人から色々と聞く場所に行きたくなくて、週末はほとんど群馬県巡りをした。その  
場に行くと、やはりリアルな雰囲気を五感で味わえるのだ。また、その一部に行くと、別の場  
所にも行きたくなる。そうして、群馬県各地を巡っていたのである。その結果、上毛かるたの  
所縁の地、世界遺産、日本100名城に入っている城、ダム湖100選に入っているダム、メロディー  
ライン、道の駅等々、コンプリートした。

その後も群馬県にはしばしば訪れていた。はたまた、ところがである。今度は今年4月に宮  
城県に赴任した。そうすると、3年前まで行っていた「赴任地巡り癖」に、またまた火が付い  
てしまったのである。

赴任する前から東北地方について色々と調べると、さくら名所100選、名水100選、日本の  
滝100選、棚田100選、かおり風景100選、日本の音風景100選、日本で最も美しい村、日本遺産、  
世界遺産、日本農業遺産、日本100名城、続・日本100名城、ダム湖100選、ラムサール条約登  
録湿地など、その分野の専門家が選んでいた場所が列挙されているのである。もちろん、  
選ばれた理由が書かれている。それを読むと、見に行きたくるのである。これは性分である。

そうして今は、休みの日には、地域ごとに専門家が選んでいた名所を巡っているの  
である。そうすると、その地域の風光明媚な風景、寺社仏閣、お祭り、花火大会、食事、お酒に  
巡り会える。そして、その地域の歴史、文化、風土、人々の営みを肌で感じられるのだ。その  
結果として、いくつかコンプリートできた分野もあれば、今チャレンジ中の分野もある。この  
ように、今は東北の魅力を探訪中である。皆さん、東北巡りをされてはいかがでしょうか？

